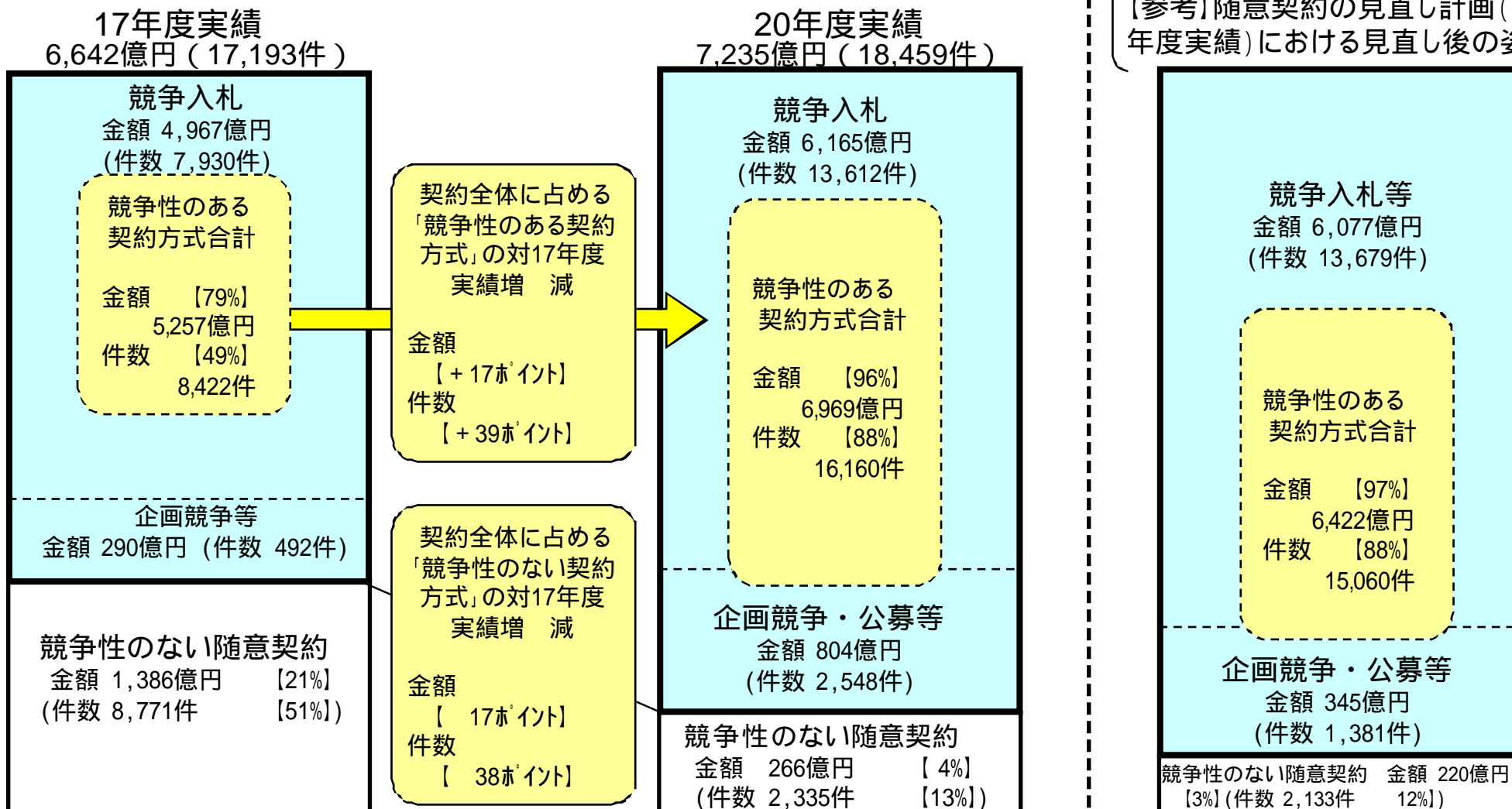


## 平成20年度における競争性のある契約方式の状況【農林水産省】

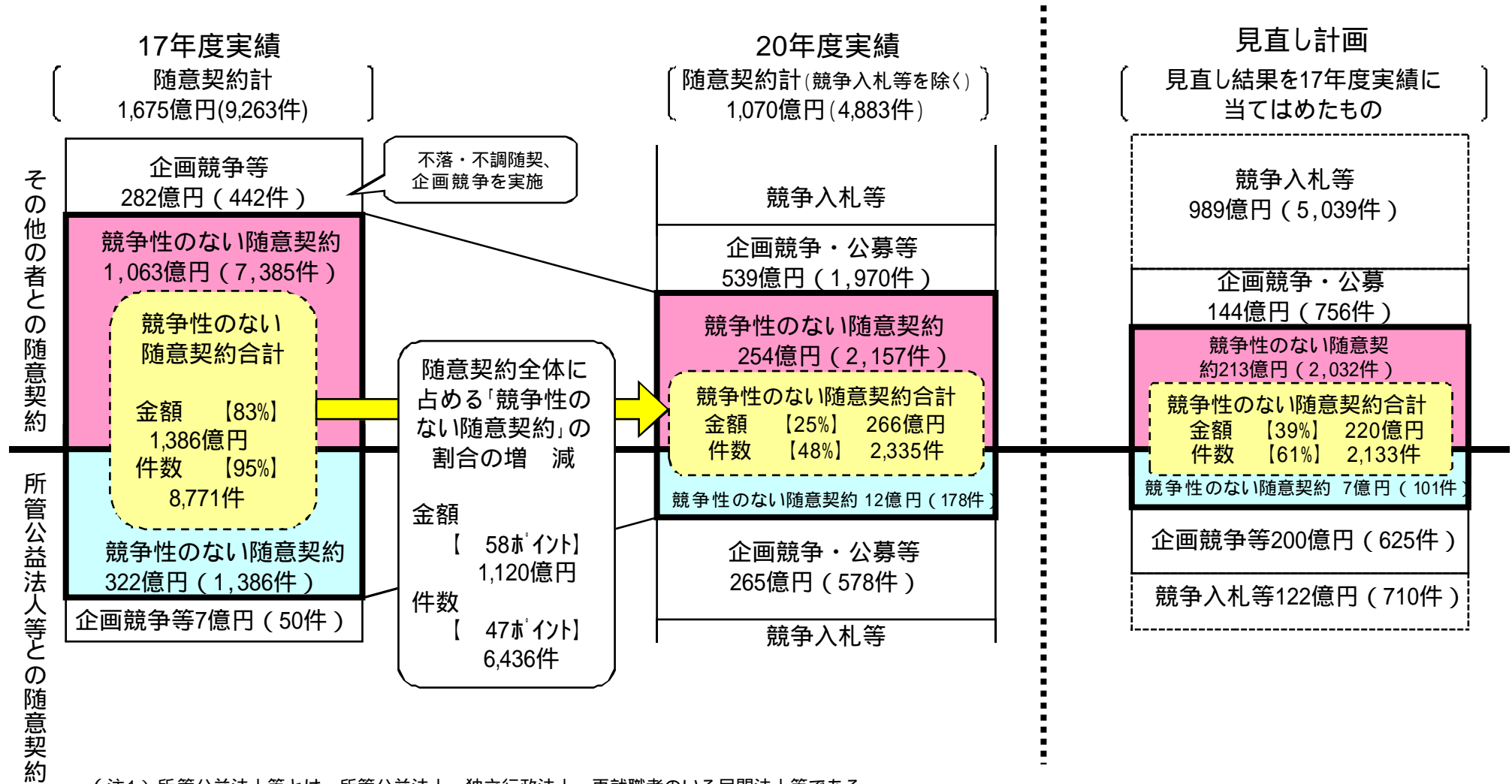
20年度実績においては、17年度実績と比較して「競争性のない随意契約」の契約全体に占める割合が、金額ベースで17ポイント、件数ベースでは38ポイント減少している。



(注) 図中の 【 】書は、当該年度における「競争性のある契約方式」又は「競争性のない随意契約」の契約全体に占める割合である。

# 平成20年度における随意契約の状況【農林水産省】

20年度における随意契約を所管公益法人(注1)又はその他の者(注2)と締結したものに区分し、17年度実績と比較すると、「競争性のない随意契約」については、前者が約310億円(1,208件)、後者が約809億円(5,228件)の減少となっている。この結果、「競争性のない随意契約」全体として約1,120億円(6,436件)減少し、随意契約全体に占める割合では、58ポイント(金額ベース)減少している。



(注1) 所管公益法人等とは、所管公益法人、独立行政法人、再就職者のいる民間法人等である。  
 (注2) その他の者とは、所管公益法人等以外の者である。  
 (注3) 図中の【】書は、当該年度における「競争性のない随意契約」の随意契約全体に占める割合である。